

# 野登地区

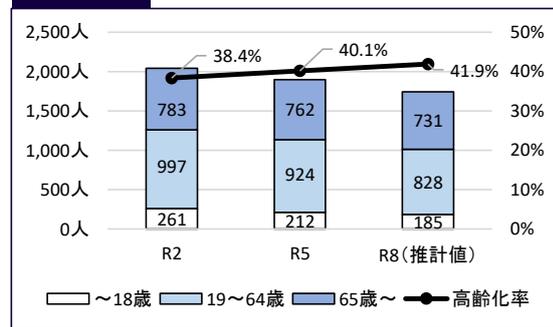
## ◆概要

	【位置図】	まち協名	野登地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市両尾町1908-5	電話	0595-85-0001
		地区構成	両尾町 安坂山町 辺法寺町		
		地域特性	亀山市の北部に位置し(坂本・池山・安楽・平尾・原尾・辺法寺)の6自治会から構成されています。宮川や安楽川の清流に沿って集落を形成し、県指定文化財である野登山のブナ林があるなど、自然豊かな郷土であります。また地区毎に特色ある文化や伝統を育み人と人とのつながり、絆の強いまちを築いています。両尾町には宗徳寺、弥牟居神社、安坂山町には古来、亀山城主の祈願所であった野登寺があり、千手観音菩薩が祀られています。		
面積	3,780.1ha	ホームページ	<a href="http://nonobori.onushi.com/">http://nonobori.onushi.com/</a>		
めざす姿	一人ひとりが生き生きと輝き、互いに支えあう安心して暮らせるまち				
地域の誇り	ネコギギ(国指定天然記念物)の生息や棚田百選に選ばれた坂本棚田などの地域資源がある				

## ◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	2,041人	1,898人	1,744人	-143人	
人口密度	0.54人/ha	0.50人/ha	0.46人/ha	-0.04人/ha	
65歳以上	人口	783人	762人	731人	-21人
	比率	38.4%	40.1%	41.9%	1.8%
18歳以下	人口	261人	212人	185人	-49人
	比率	12.8%	11.2%	10.6%	-1.6%
外国籍	人口	15人	13人	-	-2人
	比率	0.7%	0.7%	-	-0.1%

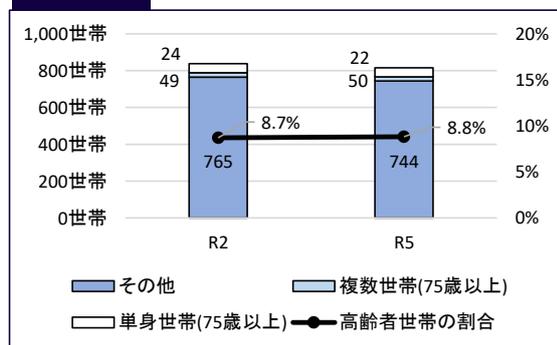
## ◆人口推移



## ◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	838世帯	816世帯	-22世帯
単身世帯 (75歳以上)	49世帯	50世帯	1世帯
複数世帯 (75歳以上)	24世帯	22世帯	-2世帯
高齢者世帯割合	8.7%	8.8%	0.1%

## ◆世帯推移



## ◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	47人	50人	3人
要介護1~5	109人	100人	-9人
合計	156人	150人	-6人

## ◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	6	6	0
老人クラブ	2	2	0
子ども会	5	5	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	5
主任児童委員	1
福祉委員	16
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	1
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	0
歯科診療所	0
薬局	0
保育所	1
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	1
放課後子ども教室	1
子育て支援センター	1
学校(小・中・高)	1
乗り合いタクシー停留所	26

◆担当地域包括支援センター

亀山第1地域包括支援センター ぼたん
--------------------

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあいいきいきサロン	5	8	3
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	0	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

天空の森ウォーキングの三世代交流を行っています。

【訪問活動】

75歳以上の一人暮らし高齢者に対し訪問配食を行っています。

【その他】

年間を通して子どもの登下校時の子ども見守りパトロールを行っています。



敬老会及び芸能文化祭



亥の子(伝統行事)

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・野登地区春季大運動会
- ・三世代交流
- ・敬老会及び芸能文化祭
- ・子供神輿
- ・亥の子(伝統行事)
- ・声かけ・あいさつ運動
- ・なんぼ歩いたかな

◆生活支援コーディネーターからのコメント

野登地区の人口は1,898人で、そのうち40.1%にあたる762人が65歳以上です。地域内816世帯のうち、8.8%にあたる72世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の0.7%にあたる13人が外国籍です。地域の特色として、地区内の保育所・小学校の運動会での交流、地域の特産品である「ミツマタ」を使った卒業証書の製作やしめ縄づくり等、世代を超えた交流が盛んに行われています。また、市が健康増進を目的に実施する「アプリdeウェルネス推進事業」を積極的に活用し、多数の人がウォーキングに取り組むなど、健康意識が高い地域であることが伺えます。人口減少や高齢化が進むなか、昔からのおすそ分け文化やちょっとした困り事をお互いに助け合う関係性が築かれており、令和5年度は病院や買い物などの移動支援を試行的に始めています。今後も住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、日常生活の支え合いの仕組みとして整えていくことが期待されます。